

平成28年度事業報告

平成28年度において実施した事業について、以下のとおり報告します。

第1 組織運営

1. 会員の異動状況

平成28年3月31日現在	216社
平成28年度入会会員	14社
平成28年度退会会員	10社
平成29年3月31日現在	220社

2. 総会、理事会等の開催

(1) 定時総会

第5回定時総会

日 時 平成28年6月9日(木) 16:00～

場 所 芝パークホテル

報告事項 (1) 平成27年度事業報告について

(2) 平成27年度公益目的支出計画実施報告について

(3) 平成28年度事業計画及び予算について

決議事項 第1号議案 平成27年度収支決算報告について

第2号議案 役員の補充選任について

その他

(2) 理事会

第1回理事会

日 時 平成28年5月18日(水) 13:30～

場 所 農業土木会館

議 題 ① 平成27年度事業報告について

② 平成27年度収支決算報告について

③ 平成27年度公益目的支出計画実施報告について

④ 役員の補充選任について

- ⑤ 特定個人情報取扱規程の一部改正について
- ⑥ その他

第2回理事会

- 日 時 平成28年6月9日(木) 14:30～
- 場 所 芝パークホテル
- 議 事 ① 第5回定時総会について
- ② 役員の新規選任について
- ③ その他

第3回理事会

- 日 時 平成29年3月23日(木) 13:30～
- 場 所 農業土木会館
- 報告事項 ① 平成28年度活動状況について
- ② 平成28年度決算見込について
- ③ 平成28年度公益目的支出計画実施見込について
- 議 題 ① 平成29年度事業計画(案)について
- ② 平成29年度収支予算(案)について
- ③ 定時総会の開催について
- ④ 会員の新規入会について
- ⑤ その他

(3) 委員会

① 総務企画委員会

3回(5月11日、9月14日、3月16日)開催し、理事会及び総会議案について審議した。

② 広報委員会

4回(4月20日、7月8日、10月21日、1月26日)開催し、機関誌「JAGREE」91号及び92号の編集方針の審議及び校正を行った。

第2 事業の概要

1. 調査研究等

(1) コンサルタンツ部門

コンサルタンツ幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

<主な調査・検討事項>

1) 変化する設計業務等の取り巻く環境に対応するため、業務執行上の問題点等について会員へのアンケートによる実態把握調査を実施し、以下について検討を行った。

- ① 業務内容に応じた入札契約制度の適切な適用について
- ② 総合評価方式の価格点・技術点の配分の適切な運用について
- ③ 提出資料の簡素化について
- ④ 入札予定情報等の開示について
- ⑤ 設計歩掛、補正係数について

2) 計画策定業務は、作業内容が従前に比べ大きく変化しており、内容も多岐にわたっていることから、計画策定業務等に関する課題、計画関係業務の作業の基本的事項、特別仕様書、作業項目内訳表について検討を行った。

<主な報告事項>

- 1) 「測量・調査・設計」業務の品質確保等に関する改善方策について提案を行った。
- 2) 平成 28 年度補正予算等に係る業務執行について、適切な工期設定の要望を行った。

平成 28 年度 コンサルタンツ幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1) コンサルタンツ幹事会 座長：NTCコンサルツ(株) 技術管理本部長 松浦正一	6月22日、7月28日、10月4日、 11月15日、3月3日	8	5
(2) 意見交換会 農林水産省	7月28日、10月4日、3月3日		3

(2) 水利施設保全管理補修部門

水利施設保全管理補修部会及び幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行った。

<主な調査・検討事項>

- 1) 会員企業の製品等について整理分析し、調査手法、材料・工法の品質規格等を掲載した「農業水利施設保全補修ガイドブック(平成28年)」を取りまとめた。
- 2) 同じ失敗を繰り返さないために、成功事例・不具合事例を会員から収集し、「補修事例から学ぶ原因と対策事例集」を取りまとめた。
- 3) 「表面含浸工法」の施工実態を把握するため、会員に対しアンケート調査を実施した。

<主な報告事項>

- 1) 平成29年制定予定の「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル(パイプライン編)(案)」について、会員による査読を行い、技術支援センター(関東農政局土地改良技術事務所内)に意見を提出した。
- 2) 平成27年度改定した「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】」の改定内容について、質疑応答形式で技術支援センター(関東農政局土地改良技術事務所内)による説明会を行った。
- 3) 昨年に引き続き、埼玉県が多面的機能支援推進会議研修会の参加者(約400名)に対し、目地充填工法の会員3社によるパネル展示等PR活動を行った。

平成28年度水利施設保全管理補修部会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1) 水利施設保全管理補修部会	4月21日	69	1
(2) 設計・積算・施工幹事会 座長：日本基礎技術(株) 課長 奥野 倫太郎	12月2日、2月6日	6	2

(3) セメント製品部門

セメント製品幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

<主な調査・検討事項>

- 1) 国営事業所におけるプレキャスト製品の活用に当たり、課題となる現場打ちとの経済比較、施工面、維持管理面等の現場実態調査方法について検討を行った。
- 2) プレキャスト製品が採用されている現場における、設計条件や制約条件を整理し、普及のための「プレキャスト製品の施工事例集」について検討を行った。
- 3) 鉄筋コンクリートフリューム規格の改定に当たり、協会規格の適用性、課題・改善点などアンケート調査による聞き取り項目について検討を行った。

<主な報告事項>

- 1) 国営事業所の現場における施工実績、工法検討方法、評価・改善等を調査した「プレキャスト製品の施工実態調査(農林水産省 施工企画調整室調査)」結果について、各地方協会に情報提供した。
- 2) 施工企画調整室で作成する「プレキャスト製品の施工事例集」の参考資料として、会員のプレキャスト製品の施工実績について、情報提供した。(45件)

平成 28 年度セメント幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1)セメント製品部会幹事会	4月21日、7月22日、1月26日	5	3
(2)意見交換会 農林水産省	4月21日、7月22日、1月26日		3

(4) ポンプ部門

<主な報告事項>

国営事業で造成された排水ポンプ施設について、災害協定の基礎資料とするため、諸元等をまとめた「国営排水ポンプ施設調書」を作成した。

2. 研修等

(1) 農業水利施設機能総合診断士制度

既存の農業水利施設の機能維持及び保全管理を図るため、農業水利施設機能総合診断士の講習会及び認定試験を実施し、農業水利施設の機能診断・機能保全計画を適切かつ効率的に実施できる技術者を機能総合診断士として認定した。

また、機能総合診断士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催し、以下の活動を行った。

① 講習会・認定試験の実施

平成 28 年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数(名)
講習会	東京会場	平成 28 年 9 月 26 日～9 月 28 日(3 日間)	81
認定試験	東京会場	平成 28 年 11 月 26 日	87
	京都会場	平成 28 年 11 月 26 日	55

認定試験結果：受験者数 131 名 合格者 46 名 合格率 35.1%

農業水利施設機能総合診断士合格者累計：696 名

② 関係委員会の実施

平成 28 年度 関係委員会開催状況

委員会名	構 成 (名)		開催回数
	委 員	アドバイザー	
資格制度運営委員会	7	4	3
講習委員会	9	3	2
試験委員会	5	3	5

③ 登録の更新

平成 24 年度登録者が今年度有効期限を迎えるため、登録更新を行った。

更新に当たっては、提出された業務経験等レポート及び JAGREE 学習レポートを審査し、一定水準に達した者について登録の更新を行った。

H28 更新対象者数 66 名 更新登録者 61 名

農業水利施設機能総合診断士登録者累計：628 名

④ 登録者名簿の配布

ストックマネジメント業務及び補修工事に機能総合診断士資格の活用を図るため、「農業水利施設機能総合診断士 登録者名簿」を発注機関に配布した。

(2) 農業水利施設補修工事品質管理士制度

農業水利施設の補修工事の施工及び施工管理に関わる現場技術者を育成するため、農業水利施設補修工事 品質管理士[コンクリート構造物分野]の講習会及び認定試験を実施し、補修材料の品質規格及び補修工事の施工技術を習得した技術者を品質管理士として認定した。

また、品質管理士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催し、以下の活動を行った。

① 講習会・認定試験の実施

平成 28 年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数(名)
講習会	仙台会場	平成 28 年 6 月 27 日～28 日 (2 日間)	61
	東京会場	平成 28 年 6 月 16 日～17 日 (2 日間)	51
	京都会場	平成 28 年 6 月 20 日～21 日 (2 日間)	66
	熊本会場	平成 28 年 7 月 4 日～ 5 日 (2 日間)	85
認定試験	仙台会場	平成 28 年 9 月 3 日	76
	東京会場	平成 28 年 9 月 3 日	67
	京都会場	平成 28 年 9 月 3 日	90
	熊本会場	平成 28 年 9 月 3 日	95

認定試験結果：受験者数 312 名 合格者 230 名 合格率 73.7%

農業水利施設補修工事品質管理士合格者累計：853 名

② 関係委員会の実施

平成 28 年度 関係委員会開催状況

委員会名	構 成 (名)		開催回数
	委 員	アドバイザー	
資格制度運営委員会	7	4	3
講習委員会	8	3	3
試験委員会	5	3	2

③ 登録

試験合格後の登録申請により登録を行い、登録証書を交付した。
農業水利施設補修工事品質管理士登録者累計：828名

④ 登録者名簿の配布

ストックマネジメント業務及び補修工事に品質管理士資格の活用を図るため、「農業水利施設補修工事品質管理士登録者名簿」を作成し、発注機関に配布した。

3. 広報活動

(1) 機関誌「JAGREE」の発行

機関誌「JAGREE」91号及び92号を各2,000部発行し、会員及び関係機関、団体に配布した。

(2) 資料の配布

農政関係資料、農業農村整備事業関係予算資料、技術資料などを会員に配布した。

(3) ホームページによる情報の発信

農業農村整備に関する情報、資料及び既刊「JAGREE」のストックマネジメント関連記事等を掲載した。

(4) 会員名簿の発行

平成28年度版の協会8部門220社の会社名及び地方協会担当者を掲載した会員名簿を会員に配布した。

4. 災害協定

地方農政局長と締結した「災害時の応急対策業務に関する協定書」の第4条(業務の実施体制等)に基づく連絡体制及び実施体制について確認し、地震等の大規模な自然災害の発生時に土地改良施設である排水機場等の災害の対応に備えた。

5. 図書刊行事業

平成 28 年度は、「農業水利施設の機能保全の手引き【開水路】」、「農業水利施設の機能保全の手引き【パイプライン】」、「農業水利施設保全補修ガイドブック（平成 28 年）」を発刊するとともに、「農業水利施設の長寿命化のための手引き」、「農業水利施設の機能保全の手引き」、「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】（案）」ほか 5 種類の専門図書を頒布した。